

## 36-66 付着依存性細胞用マイクロキャリアの開発

物質生命化学科 助教授 國武雅司  
助 手 坂田真砂代  
大学院自然科学研究科 前期課程 竹内正彦

表面に様々なアミノ基を有する低分子・高分子を修飾したセルロース粒子を付着依存性細胞増殖のためのマイクロキャリアとして開発した。導入量を様々に精密制御し比較した結果、細胞増殖性と表面構造の関係が明らかとなった。特に、表面のpKaと有効帶電アミノ基量が、リガンドの種類にかかわらず重要であることを明らかにした。

(Design of Surface Environments on Polymer Microcarriers for Fibroblast Growth Biomaterials,  
24, 4253-4264 (2003).)

(D. Kato, M. Takeuchi, T. Sakurai, S. Furukawa, H. Mizokami, M. Sakata, C. Hirayama and M. Kunitake)